

〔グリーン・イノベーション・農林水産業分野〕
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和6年度

競争力と持続力を持つ交流6次化モデルの構築特区

〔指定：平成24年7月、認定：平成30年3月〕

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i) + ii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

4.6

i)取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	耕作放棄地面積	66%	3
2	農業従事者	104%	5
3	農業所得	129%	5
4	市人口社会増減数	872%	5
5	観光入込客数	277%	5
6	地域資源を活用する民間企業の誘致数	100%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値 $(5 \times 5 + 4 \times 0 + 3 \times 1 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 6 = 4.7$

4.7

※1)1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。

(例)評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2)数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii)取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

4.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

3.7

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

-

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

3.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.3

III 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

4.3

・人口の社会的増加を8年連続して記録しており、首都圏近郊という地の利もあるが、移住促進政策は効果をあげていると評価することができる。移住アンバサダー制度によって更なる成果があがることが期待される。農業専業的な担い手の育成だけでなく、農的な暮らし・半農半Xを求めて移住してくる人たちによる農業を含めた小規模事業の支援を進めていくことが求められているように思う。農業を通じた企業と地域との提携は近隣の北杜市の取組が参考になるかもしれない。温暖化が果樹産地に与える影響に対する手当が今後求められる。最低気温の上昇は農作物の品質に決定的な影響を与え、暖冬によるカメムシの大量発生も懸念される。農業振興に温暖化対策を1つの柱として加える段階になっていいると考える。

・多くの目標について成果を挙げており、十分に優れていると評価した。
耕作放棄地が拡大しているが、要因として指摘された高齢化と低所得化に対して、既存の対策が有効か、精査する必要がある。
fumotto(フモット)南アルプスにより観光客が増えている事は歓迎したい。地場産品を中心とした地域経済の発展効果についても、より良くする可能性がないか、検討したい。

・全体的に進捗及びブランド化は進んでいるが、特定酒類の製造事業の件を除いても、フルーツ事業に関しても課題が残る。ここで、KPIの見直しやリニアに頼らない人流増加の仕掛けなど見直しも必要と思われる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

4.3

総合評価

I、II及びIIIを1:1:2の比率で計算 $(4.6+3.7+4.3 \times 2) / 4 = 4.2$

4.2

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

- ・評価は5~1(評点)で行う。
- ・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
- ・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。